

大妻中野中学校・高等学校 から
帰国生・GLC 生の新入生保護者の皆さまへ

本校の帰国生保護者にアドバイスをいつも頂いている小木曾 道子先生からのメッセージです。

大妻中野中学校 帰国新入生保護者の皆さま

お嬢様のご入学、おめでとうございます。新しい学び舎も決まり、お嬢様も喜びと期待、ちょっぴり不安も抱えながら入学式を待ち望んでいることでしょう。

私も皆様と同じく帰国生の母で、娘が丁度、帰国卒私立中学入学時に帰国いたしました。私たちは8年間アメリカに滞在しており、娘にとっては初めての日本の学校でした。思春期の時期と重なり、娘にとっては学校生活もアメリカとは違い、かなり戸惑いのあるスタートとなり1年目は親子共々苦しい時間を過ごしました。そのようなことも踏まえていくつかアドバイスをさせていただきます。

保護者の皆様においていただきたい事

- ① 子どもは成長過程で海外を体験してきましたので、帰国は親にとっては母国に戻ることですが、子どもにとっては又新しい国(場所)に移動するという感覚です。
- ② 海外で自分なりに仲間もでき、ようやく自分の居場所を見つけた頃に、再びそこから別離しなくてはならない。お子さんの心境はかなり辛いものがあります。
- ③ そして帰国後、又新しい場所で、学校で、自分の居場所を見つける心の複雑さ。
- ④ さらに自国での学習面の遅れや友人関係、日本の決まり事等、日々疲れることも多い。

以上のようなことがお嬢さんの内面で起きているかもしれません。

是非、温かく見守り、お子さんの話にしっかり耳を傾け、サポートしてあげてください。焦る必要はありません。大妻中野校はとてもあったかい学校ですので、お嬢様はゆっくり時間をかけて学校に、日本に馴染んでいくことと思います。

思春期の特徴を保護者の皆さんが理解しておくことも大事です。思春期は→悩み、葛藤の時期・自分なりの哲学が始まる時期・親より友達が大切。秘密が多い時期・人生、社会を意識し始める時期・本当の事を知りたくてたまらない時、等々です。小学校時代とは違ってきます。試行錯誤しながら日々を過ごしています。

子育ての最終目的は自立そして自活です。そこまでの道のりを、親はどうサポートしていくのか、お子さんの成長に寄り添いながら親として適切な接し方を具体的に組み立て、日々笑顔で実践されますように！

応援しております。

小木曾道子(こぎそ みちこ)

海外子女教育振興財団(JOES)
渡航前配偶者講座・英会話講師・外国語保持教室サポートスタッフ
日本プロカウンセラー協会認定カウンセラー
親学推進協会認定アドバイザー
東京都地域活動推進課応援ナビゲーター
NPO法人 乳幼児メディアアドバイザー
日本マチュピチュ協会理事

